

きらり四日市人

八郷地区ボランティア団体

「やさと紫陽花クラブ」



八郷地区で活動しているボランティア団体「やさと紫陽花クラブ」。ゴールデンウィークに伊坂ダム湖周辺のサイクリングコースの上空に、こいのぼりを泳がせるイベント「親子で作ろうこいのぼり」の開催や、伊坂ダムに定植したアジサイの管理を行っています。30年以上の付き合いだというメンバー4人（発足時6人）に、活動内容やボランティアで活動を続ける意義などをお聞きしました。

親子のつながりを強くしたい

私たちは、八郷小学校のPTA役員を務めていたメンバーで、その後も交流を続ける中で、何か地域に貢献できることはないかと、平成10年にこのクラブを発足させました。その年から、地域住民を巻き込んだ大規模なごみ拾い活動を企画し「ごみゼロ」運動を行ったり、「地域の親子のつながり・絆を強くする手助けをしたい」という思いから、親子を対象とした「デイキャ

ンプ」を開催したりしました。デイキャンプは、100人近くの親子が参加する9年続いた人気イベントでした。

平成16年には、メンバーに高知県の「仁淀川紙のこいのぼり」に携わる知人がいたことをきっかけに、台紙になる不織布の仕入れやノウハウを教わり工夫して、「親子で作ろうこいのぼり」を開催しました。地域の人たちの協力もあるおかげで、今では180組を超える参加があり、八郷地区の恒例行事となっています。こいのぼりを完成させた親子の満足そうな顔を見たときが、達成感を感じる瞬間ですね。

ボランティアで活動をするということ

私たちは、この4人で集まっておしゃべりすることの延長で活動をしている感覚なので、活動時間がとにかく楽しいんです。無理なく、できる範囲のことをできる人がやるということをも motto に活動しているのが、活動が長続きしている秘訣かなとも思います。過去に、八郷地区市民センターをイルミネーションで彩ることもしていたのですが、年齢もあって、高所での作業に不安を感じるようになり、今では行っていません。こんな調子で、自分たちが無理せずできる方法をたくさん話し合っ活動してきました。それぞれの人脈や持っている知識を生かしている今のカタチで、ちょうどバランスがよいんだと思います。

6月にはアジサイが咲き誇る

クラブの名前にも入っているアジサイ。「八郷と言えば」の花をつくりたいとメンバーで考え、土壌の質で花の色が変わるアジサイが面白いのではという話になりました。平成11年に挿し木、平成13年に定植をしてから、毎年6月になると満開を迎え伊坂ダムを彩っています。ぜひ、ウォーキングしがてら、色とりどりのアジサイを楽しんでください。



伊坂ダムを泳ぐこいのぼり



こいのぼりの下描き作業



伊坂ダムのアジサイ

5月放送のCTY-FM「よっかいち わいわい人探訪！」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)